



# 九条の会

秋葉区「九条の会」事務局

新津教育会館内

新潟市秋葉区善道町2-9-44

Tel 0250-21-3691 Fax 0250-21-3692

<http://www7a.biglobe.ne.jp>[/~hiro-line/nk9jo/index.htm](http://~hiro-line/nk9jo/index.htm)

## 秋葉区「九条の会」3周年のつどい

### これまでの最高200人が集まる

3月15日、秋葉区「九条の会」は、3周年のつどいを新津健康センター・はつらつホールで開きました。経済同友会終身幹事の品川正治さんを記念講演にお招きしたところ、多くの市民から反響があり、これまで最高の201人が集まりました。

呼びかけ人で代表委員の渡辺譲（元新津市収入役）さんが、開会のあいさつをしました。

「政府がソマリア沖に自衛隊を派兵しようとしていることに、危惧を感じている。これでは、何か理由を見つけて“いつでも”“どこでも”自衛隊派兵ができることになる。憲法9条を守る運動をいっそう強めていこう」と呼びかけました。

記念講演に先立ち、内山忠信さん、渡辺敏江さんによるフルート演奏会が開かれました。「赤いサラファン」「早春賦」「夏の思い出」など、お馴染みの曲が演奏され、なごやかな空気が広がりました。

品川正治さんの「戦争、人間、そして憲法9条」と題した講演は、静かな語り口で確信に満ちたお話を、会場全体が平和への想いにつつまれました。

#### 講演メモ

#### 「戦争、人間、そして憲法9条」 品川正治（経済同友会終身幹事）

- ◎ 学徒動員が始まり、先輩が次々と戦場に招集されていきました。死を意識した学生は残された時間と真剣に向き合いました。ある者は源氏物語を読み終えたいと考え、ある者はカントの「純粹理性批判」を読みたいと考えました。私はドイツ語の原書でそれを読もうと思いました。
- ◎ 読み終えた10日後に召集が来ました。北支那方面に送られ、明けても暮れても戦闘が続きました。ある日、迫撃砲の砲弾が炸裂し、負傷しました。戦場で生き残った兵は、戦場の体験を語りたがりません。ニューギニア、インパールの戦場は、惨めでした。7割が餓死したのです。アッツ島では死を強いられました。
- ◎ 多くの兵士が死にました。その人達は戦争を語る事ができません。生き残った者は、「一体戦争とはどんなものだったのか」話す義務があるのです。
- ◎ 平和憲法ができて、日本は戦争をしないことにしました。しかし、権力を握っている人たちにとっては、青天の霹靂（へきれき）でした。何とか「普通に戦争できる国」にしたいと策動してきたのです。
- ◎ 戦争は人間が起こすものです。止めることができるのも人間です。戦争ができない憲法を持っている日本は、世界の宝を持っていると同じです。「国際平和のためにあの国をやっつける」などと言う人は、国家の目でものを見ているのです。人間の目で見ている日本国憲法こそ大切なのです。
- ◎ 「日米は価値観を共有している」などと言う人がいますが、原爆を落とした者と、落とされた者で価値観が同じと言えるのか。そんなことを言うのは、アメリカの言うとおりにする人、つまり従属する人が言うことです。
- ◎ 日本の主権者が、「ノー」と言えば世界史が変わるのです。トヨタの奥田さんも1票、みなさんも1票、その自覚を持って次の選挙に行動しましょう。

## 秋葉区 9 条の会

### 結成 3 周年のつどいに参加して

上杉 国武 (草水町)

9 条の会結成 3 周年のつどいは、200 名を超える参加者で盛り上がった。品川講師の体験を踏まえての“9 条を守ろう”の訴えは、大きな感動と決意を固めさせた。平和を願う各界・各層への広がり「靖国の流れ」・「田母神の危険な策動」を阻止する力となっている。

昭和 19 年生まれの私は、直接戦争の怖さは知らない。しかし、あの悲惨な戦争を直接体験した人からこうした話しを通して、また真実を掘り起こし、戦争の恐ろしさを風化させてはならないと実録として示している読み物を通して、正しい知識を深めていくことはできる。

品川氏の講演で触れられていた「戦争の実態は、戦死といわれている兵隊の 70%は餓死だった」という実態は、岩井忠熊「靖国と日本の戦争」によると『戦没といっても銃弾や放火で倒れた人よりも餓死者のほうが多かった。戦没軍人・軍属 230 万人うち 140 万人前後が戦病死者だ』と記載。また、千田夏光「聖戦の名のもとに」によれば、戦争には「作戦終末点」というものがあって、ここまでなら部隊は進出させてもよいが、それを超えて進出させることはできない。「具体的には糧秣や弾薬を所要の量だけ補給できる限界点だ。太平洋戦争前にたてられた東南方面作戦は、東京ーパラオ等 3,700 km とされた。ところが戦争が始まるや、パラオ島から 3,000 km のラバウル・4,000 km のガダルカナルが主戦場とされた。」餓死という実態も旧軍隊の非科学性に立っている。

この道を再び進んではならない。どんなに小さなことでも、できることはすぐに始めることが大切との新たな決意の場となった。

## 平和のメッセージ

秋葉区のすみずみまで響かそう、  
皆でつなぐ、平和のメッセージを！

田中則巨 (緑町)

薄暮、きんか(ふくみみ)地蔵様の隣で、東の空を見上げ赤い火の玉を見た。中空を右から左へ進み、火屑に分かれて落下した。B29 の残骸は焼山で見つかった。母と見舞った長岡駅前、暑い日差しの中で正に広大な塵芥場だった。赤茶けた鉄骨が竜骨から伸びたリブの形で空を向いていた。伯母には会えず新津へ帰った。

駅前での日の丸の小旗と万歳。父が家に残り、母や弟妹と夏布団を担いで大鹿へ逃げ、暗闇で探照灯に浮かんだ飛行機を見た。四歳のときの小さな記憶である。B29 の分厚いガラスで三角定規を作ったと見せてくれた人がいたが、米兵はどうなったんだろう。

空襲の猛火を柿川に逃れた伯母は、流れてきた二人の幼児を救ったそうだ。焼夷弾で燃える近所の家では、知恵遅れの子が柱にくくられて泣き叫んでいたそうだ。わが子を柱にくくった親はどうなったろう。

悲嘆の分れもなく、血肉や弾薬の匂いも嗅いでいない。しかし、この小さな記憶と想像だけで戦争はきらいだ。それに、いつも腹を空かせていたのだ。それにしても、今、黒い悪意のある大きなうねりとも流れともいう気味の悪さを感じる。

憲法違反と判決されても平然と靖国神社に参拝する鉄面皮。国を売るような米国との密約が判明しても死者だからノーベル賞が剥奪されない。憲法九条は蹂躪し、勝手解釈のし放題なのに道徳教育を強要する無恥。国民の審判を受けずに改憲手続き法を強行採決し、施政方針演説直後に政権を投げ出したひ弱なタカ。「あなたとは違うんです」と私憤を最後っぺのようにひりだして辞めていった公私混同。これまた公私混同の「そんなの関係ねえ」と高裁判断を愚弄した空幕長が、最近やたらメディアに露出する。教科書検定に無力な出版社。枚挙に暇がない。

品川正治氏の講演は、私たちがこれを払拭し世界史を変える大きな立場に立っていることを自覚しなさいという。辺見庸氏はいう。「権力ないし戦争は、絶えず離合集散をくりかえすわれわれの無数の合意、無数の無関心、無数の断念、(略)無数の沈黙をいちばんの栄養にして、ある日むくりと巨体をたちあげてくるのである」

### 集まって下さい！

#### 新成人のみなさんに

#### 「憲法 9 条大好き、戦争きらい！」 の宣伝行動を行います。

と き：5月3日(木)10時 集合

ところ：新津地区市民会館前

5月3日に秋葉区の成人式が行われます。  
宣伝行動の時間は10時から1時間程度です。  
大勢の方の参加をお願いします。